

2020 年度実施概要

学校名

唐津市立佐志小学校

採択活動名

ふるさと佐志の海に学ぼう！

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|--------------------------------|----|----|
| 1. 「佐志大好き！～佐志の海」 | 3年 | 総合 |
| 2. 「知ろう！学ぼう！体験しよう！～佐志っ子 私たちの海」 | 5年 | 総合 |

取り組みの概要

令和2年度は小学校の新学習指導要領完全実施の年度であり、昨年度作り上げた新教育課程スタートの年度であった。海洋教育については、児童、地域の実態に合わせ、生活科、総合的な学習の時間を柱に、3,5年で取り組んだ。

3年では、社会科で町たんけんをしたときに気になった「玄海漬」商店について調べることで、佐志は昔から漁業が盛んだったこと、くじらも捕れたこと、豊かな海の幸を生かした産業も盛んになったことを知った。そして、疑問やもっと知りたいことをクジラ博士や佐志博士を招いて学習を深め、大好きになった佐志の海について、伝えたい相手に伝えたい手段を用いて発信することを、学習のゴールとした。

5年では、地引網、シュノーケリングなど海に親しむ体験や、稚魚放流、漂着ゴミ調べ、ワカメの養殖などを体験しながら、海の環境と漁業の関係について興味・関心を持ち、もっと調べてみようと考えた。そして、県水産振興センターの方や地元漁業関係者を講師に招いてたずねたりしながら、考えを深めていった。調べることを通して、伝えたい佐志の海の魅力を考え、伝えたい相手に伝えたい手段を用いて、魅力と提案を伝える「意見発表会」を、本単元の学習のゴールとした。

このような学習を通して、児童が、探究的な学び方を身に付けるとともに、自分自身が生活する身近な地域のもの・こと・人とのつながりを実感したり、地域を誇りに思い大切にしようとする心情を持ったりすることで、社会と主体的に関わり、創造していこうとする意識の基盤を育むことを目指した。

また、3,5年につながる学習として、1年生活科で海に親しむ学習を行った。5月に「はるをみつけよう」で学校の周りを探検したときに、学校の向こうには海が見え、みんなが遊べそうな砂浜もあることに気づいた子どもたちが、「夏になったら、あの砂浜で遊びたい」という思いを強くした。そこで、7月に「なつをたのしもう」で砂浜で遊ぶ計画を立てた。グループごとに遊びを考えて計画書にまとめ、砂山や池や川を作り、トンネルを掘ったり貝殻や海藻で飾ったりして楽しむことができた。

2年生活科でも、11月の2度目の「まちたんけん」で「玄海漬」商店を訪れた。1度目の全員で回った「まちたんけん」で町の絵地図を作り、その中から1つ調べたいお店などを選んで、グループ別に見学や聞き取りを行い、くわしくなったことをみんなに報告する取組である。この報告を聞くことで、2年児童全員が「玄海漬」商店のことを認識し、3年時の学習につなげることができると考える。

なお、コロナ禍の中、4～5月には全校児童、2～3月には5年児童が、それぞれ1か月近く正常な学習を行えなかったため、当初計画の修正をせざるを得なくなったが、それでも、地域の方々の協力と手立ての工夫により、できる範囲での体験的な学習を取り入れることができた。